

◇ 令和6年度 指定管理者事業評価書

施設名	水生植物公園みずの森			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	建設部	公園緑地課	初年度	177,320,000円	17,441,400円	195,900,856円	来園者数の減少に加え光熱費の高止まりが続き、運営に大きな負担となった。	都市公園であるみずの森の豊かな自然と調和を図り、四季を通じて楽しめる公園としての運営
施設HPアドレス	http://www.seibu-la.co.jp/mizunomori/		2年目					
指定管理者名	近江鉄道ゆうグループ		3年目					
指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	利用料金制
指定管理者による運営開始日	平成25年4月1日
施設の供用開始日	平成8年7月13日
指定管理導入前の運営形態	市直営

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆
年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入) <ul style="list-style-type: none"> ・みずの森の特徴であるハス、スイレンの品種数を継続的に充実させ夏季の見どころとするとともに、花の少なくなる冬季でも見所を増やし、いつ来ても楽しめる植物園として整備を進める。 ・新たな客層へみずの森をPRすることで年間入園者数115,000人を目指す。 ・施設の長寿命化を前提に、問題箇所の早期発見による部分修繕と更新を含めた大規模修繕を前提とした修繕に分けた効率的な維持管理に努める。 ・植物に関わる団体と連携し、みずの森の魅力を広くPRする企画を実行する。 		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入) <ul style="list-style-type: none"> ・年間入園者数が103,515人となり、目標入園者数の115,000人に対して90.01%、11,485人減となり、目標の入園者数を下回る結果となったが、みずの森ならではの夏のハス、スイレンの展示装飾をはじめとして、デルフィニウム、アイスチューリップ、クリスマスローズ等の展示が実施され、また令和6年度はNHKの「光る君へ」の流行を取り入れながらのスイレンの展示を行うなど、入園者数増に向けた取り組みがされた。 ・みずの森は有料施設として魅力ある植物管理が必要であることから、今後も植物観察および状況変化に応じて適切な管理運営に努められたい。 	

事業目標および管理・運営に対する自己評価（事業年度終了後記入）	公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証
<p>前年度の植物園ブームが落ち着きメディアへの露出が減少したことと、天候不順による夏季の異常な気温上昇もあり、来園者数が年間103,515人とどまった。目標としていた115,000人には届かなかったが、それでも琵琶湖のハス群落消滅以降減少傾向にあった来園者数を群落消滅以前の水準を維持した。新たな客層の集客に向けた取り組みとして、youtubeチャンネル「ショクナナ! 植物遊戯7チャンネル」と連携し「ショクナナ! フェス」をみずの森にて開催し、近隣の植物園関係者が集まったステージイベントやロータス館エントランスを彩ったモルタルガーデン、専門ショップやワークショップなどを集めたことで、植物を愛好する若い世代を中心に多くの来園者があり、水生植物を中心とするみずの森のPRにもつながった。また、観光庁の「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」の採択を受け、外国人向けの英語による園内ガイドの冊子およびホームページの整備を行い、インバウンド対応を進めた。ボランティア活動ではスキルアップを目的に研修会を企画し、宇治市植物園にて意見交換会や視察を行い、双方のボランティアを中心に情報共有を行った。</p>	<p>（応募状況：公募）</p> <p>施設管理に関して、民間による高い管理技術と経済的運営を行う管理者を求めるため公募による選定とした。</p> <p>（利用料金制度：導入）</p> <p>平成27年から利用料金制を導入しており、指定管理者のインセンティブが発揮され、多くのイベントを実施したり、youtubeチャンネル「ショクナナ! 植物遊戯7チャンネル」とコラボし、ショクナナフェスを実施するなど多くの人にみずの森をPRする工夫が見られた。</p> <p>前年度の入園者数119,200人に対して、86,8.％で15,685人の減となった。</p>

◇施設に係る主な指定管理業務
水生植物公園みずの森の運営管理において、目指す植物園像の趣旨を十分理解して、管理業務仕様書に沿って次の業務を行う。 （１）有料植物園としての植物等の管理・展示業務、（２）利用者満足度を高め、入園者数を確保する業務、（３）快適な環境を提供するための施設の維持管理業務、（４）ノウハウを活かし、ニーズに合った自主事業、（５）公園の運営管理業務

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

植物園としての植物等の管理・展示に関する業務（仕様書その１p４～１２、１７、その２P４～６１）			
評価項目１	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価
	上半期評価	紫式部が注目されていることを受け、みずの森らしい企画として小型スイレンの「紫式部」に加え、ハナショウブの「光源氏」、「清少納言」を中心とした展示を実施。関連する種類をそろえることで来園者に興味深く観賞していただけた。また、巨大ダリアなどを展示し、他では見れない貴重な景観の演出を行った。	上半期評価
	☆☆☆		☆☆☆
	下半期評価	花の少なくなる冬季に来園者楽しんでいただけたようこれまで取り組んできた１２月からのアイスチューリップ、２月下旬からのクリスマスローズをさらに強化して、令和６年度にはコンテナいっぱい植えた５,０００本を超えるアイスチューリップと、一面を覆うクリスマスローズの開花を展示し、花いっぱいのみずの森を演出できた。	下半期評価
	☆☆☆		☆☆☆

利用者満足度を高め、入園者数を確保する業務（募集要項P１１～１２、仕様書その１p７～８、２３）			
評価項目２	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価
	上半期評価	ボランティアのスキルアップと関連施設とのネットワーク構築を目標に宇治市植物公園を訪問、両施設のボランティアが活動内容やワークショップを行い交流を深めたほか、同行したみずの森職員も宇治市植物公園職員と意見交換会を行い、技術や運営面での情報交換を行った。	上半期評価
	☆☆☆		☆☆☆
	下半期評価	youtubeチャンネルとコラボして「ショクナナフェス」を開催。ステージ企画として関西の植物園関係者が集い各参加施設のPRを行うと共に情報共有を行い、これまでと違った形のネットワーク構築を行った。観光庁の「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」の採択により英語による園内ガイド冊子の製作、HPへの情報提供を行った。	下半期評価
	☆☆☆☆☆		☆☆☆

快適な環境を提供するための施設の維持管理業務（仕様書その1 p 12～15、その3 p 1～94）					
評価項目3	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価		
	上半期評価	園内に設置されている木柵に破損があったため、直営職員による作業で修繕を行った。また、制御盤内の部品交換も有資格者の直営職員による修繕を行い、修繕費用削減に努めつつ、施設の維持管理を行った。	上半期評価	施設の維持管理について、平成8年の開園以来施設の老朽化が進んでいるところであるが、美しく清掃が実施されている。また、不具合箇所についても適宜交換修繕が実施されている。	
	☆☆☆		☆☆☆		
	下半期評価	空調設備の老朽化による制御系統の破損が起こり、自動での制御ができなくなった。そのため、草津市担当課と協力しながら修繕を実施。修繕が完了するまでの間、手動での制御を行い、お客さまへ影響が出ないよう対応を行った。	下半期評価	空調設備の老朽化による制御系統の修繕が完了するまでの間、手動で対応を行い、施設運営に支障が出ないよう、適切な対応を行ったことは評価できる。引き続き、安心・安全・快適な利用促進のため積極的に施設の維持管理を進められたい。	
	☆☆☆		☆☆☆		

ノウハウを活かし、ニーズに合った自主事業の実施（提案書Ⅲ－8（6）p 65～69、仕様書その1 p 16、18）					
評価項目4	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価		
	上半期評価	京都橘大学とコラボした「草津ブルーソーダ」を期間限定で発売。草津のアオパナをイメージし、みずの森ハスソフトとマッチした商品として学生と共同で開発し製品化した。開発した商品はパラグアイオニバスライトアップに合わせ限定で発売。暗闇に浮かぶパラグアイオニバスの様子を見ながら楽しんでいただけた。	上半期評価	引き続き、みずの森でしか楽しめない飲食メニューの取り扱いや植物販売種類の充実を図られたい。既存の飲食メニューや植物販売については、十分な宣伝PRをされたい。	
	☆☆☆		☆☆☆		
	下半期評価	一時中断していた旅行代理店への営業活動を再開。年間を通してツアーによる利用が増加してきており、これまで利用の少なかった下期においても32団体の利用があり、来園増につながった。	下半期評価	来園者増に向けて、団体の利用を積極的推進したことは評価できる。引き続き、旅行代理店への営業を強化し、来園者の増に努められたい。	
	☆☆☆		☆☆☆		